

「ものづくり」柱に 大学と連携

東海教育 ウォッチ

野球や吹奏楽などの強豪校として名をはせる愛工大名電高校（名古屋市千種区）。「ものづくり」を教育の柱の一つにし、理系の専門学科も置いている。荻原哲哉校長（63）に特色や大学との連携について聞いた。（高 純実）

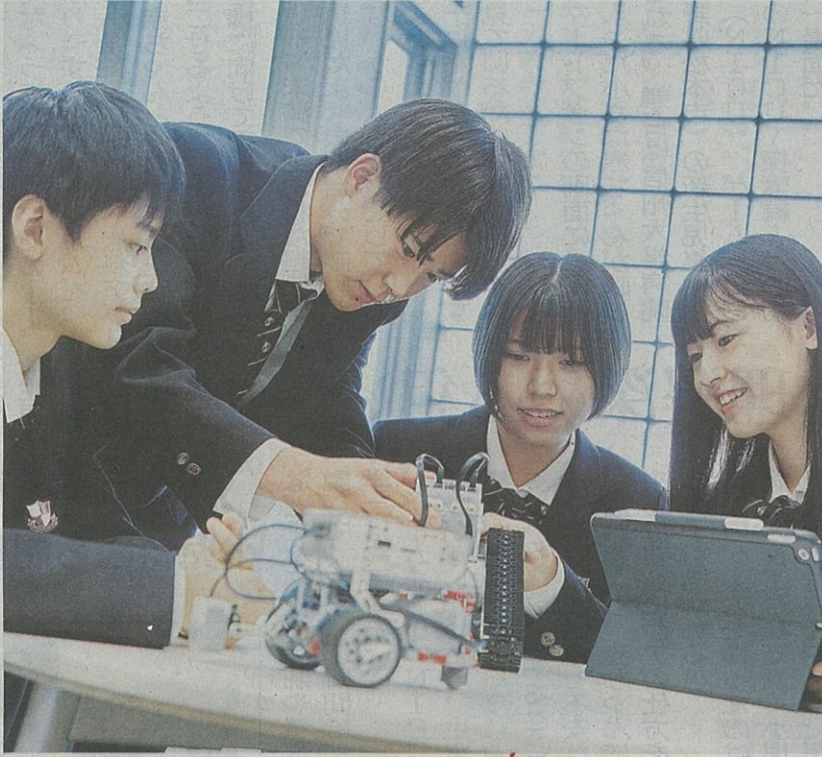
最大の強みは「7カ年」

——教育の特色を教えてください。
三つの柱で考えています。建学の理念に基づいた「ものづくり」、学力を高めること、部活動を通じた人間的な成長。特に「ものづくり」は、一番の

特色だと思っています。愛知工業大学と連携した「7カ年教育」が最大の強みで



荻原哲哉校長



1912年創立。生徒数は1998人。野球部、吹奏楽部、卓球部などが全国大会レベル。OBで元大リーガーのイチローさんのユニホームなどが展示された記念館もある。

学校データ

す。

——7カ年教育とはどのようなものですか。

専門学科である科学技術科と情報科学科では、1年生の時に大学の先生や企業の技術者などを招いた講座が毎週あります。2年生では、生徒たちが愛知工業大学の実験施設などを回って大学での学びを体験する「Meiden Lab in AIT」を実施します。3年生では1年間かけて一つの研究を行い、それを大学の専門の先生方の前で発表し、評価を受けることをゴールにしています。

1年生で幅広く見聞きする。2年生で大学での研究を体験する。3年生で自分の研究を大学の先生方に指導していただく。その上で大学に入る。高校

3年間と大学がつながっている、ということですね。

——専門学科で導入している「ST EAM教育」についても教えてください。

Science（科学）/ Technology（技術）/ Engineering（工学）/ Art（芸術）/ Mathematics（数学）。いわゆる科学技術教育の5つです。入試でも専門学科については「STEM選考」といって理科と数学に比重を置いた選考もしていて、得意な生徒が入ってきます。

——部活動も活発ですね。

生徒たちがお互いに応援し合っています。先日の吹奏楽部の定期演奏会には、チアリーディング部と剣道部がみんまで来ていましたし、野球部の県大会決勝にはバレー部が、逆にバレー部の県大会決勝には野球部がそろって応援に来ていました。運動部も文化部も関係なく、お互いに応援し合う、すごく良い雰囲気です。

また本校では、情報デザイン部が他

部の活躍にいい形がかかわっています。それぞれの大会前に応援ポスターや短い動画をつくるのですが、プロ顔負けの上手なものをつくって盛り上げてくれます。

社会のつくり手育てる

——どんな生徒に育ってほしいですか。

建学の理念は「一握りのエリートではなく、企業の第一線で活躍できる真の技術者を育てたい」というものです。この理念を大切にして、社会で役立つ人を育てたい。社会の最前線で自分の手で社会をつくっていく、支えていく、そういう気概を持った若者を育てていきたいですね。

そのための校訓が「誠実・勤勉」です。誠実であり、勤勉であるということが、信頼を得るために一番大切なことだと思います。高校生の今はピンとこないかもしれませんが、社会に出ると、それがいかに大切かがわかるでしょう。3学期の始業式でもそんな話をしたところです。

——今後の展望はいかがですか。

特色である「ものづくり」教育をさらに磨いていきたい。工業大学と一体になった教育も、なかなかできるものではなく、大切にしていきたいです。全国で活躍する部活動がお互いに刺激し合いながらやっているというのも、恵まれた本校ならではの特長なので、これからも大事にしていきたいと思えます。



愛工大名電高校 1月25日、いずれも名古屋市千種区



記念館に展示されているOBで元大リーガーのイチローさんのボールやヘルメット